



小学生・中学生の皆さんへ

あらかわ区報

ARAKAWA KUHO JUNIOR

2022年[令和4年]

5.27

No.147

発行：荒川区
発行部数：23,000部
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhojr/arakawakuhojr.html>



ジュニア

あたらしくなった！

あらかわ遊園に遊びに行こう！



みんながお待ちかね！

都内唯一の区営遊園地・あらかわ遊園が、令和4年4月21日にリニューアルオープンしました。今回、より楽しく生まれ変わったあらかわ遊園を第三日暮里小学校のジュニア記者たちが訪問。新しいアトラクションや施設を体験しました。みんなが楽しめるあらかわ遊園を、ジュニア記者の視点でたっぷり紹介します！



問い合わせ

あらかわ遊園
☎(3893)6003

新型コロナウイルス感染症予防のため、取材時は全員がマスクを着用していますが、撮影のためにマスクを外している場合があります。



あらかわ区報Jr. × あらかわ遊園

あらかわ区内在住の小学生・中学生限定

「一日フリーパス」

無料

ひとり1枚、1日限り有効

有効期限 令和4年12月28日(水)まで

このチケットで入園料が無料になります。また、一部を除き、乗り物・遊具が乗り放題になります。裏面に学校名・学年を記入して、あらかわ遊園受付窓口へ提出してください。

次は7月に発行する予定です

なに
の
乗ろう?

どこで
あそ
ぼう?

新しいアトラクションがいっぱい!

あらかわ遊園の園内には、アトラクションを一新した「のりもの広場」や、雨の日でも室内アスレチックが楽しめる「わくわくハウス」など、楽しいスポットがいっぱい。各アトラクションや施設には、スロープなどが設置され、赤ちゃん連れの方や車いすの方も安全に遊ぶことができます。新しくなったあらかわ遊園を、ジュニア記者たちと巡ってみよう!



ほかにも
どろどろ広場など、
気になるところが
たくさん!



西尾久 6-35-11 ☎3893-6003
あらかわ遊園 検索



スワンの池

半円形のアーチ橋がかかったスワンの池。水面に映った橋がメガネのような形になっていることにも注目!

引退した都電車両の「一球さん号」はカフェに变身! レトロな雰囲気を感ぜられます



一球さん号

スワンの池のほりにはテラスが設置され、オープンカフェとして利用できます。池の周りには季節の花が咲き、ゆっくり休める園内随一の癒しスポットです。



休憩に
おすすめ!

のりもの広場

人気のアトラクションを集めた「のりもの広場」を大幅にリニューアル。高さ40メートルの観覧車やメリーゴーランドなど、試乗したジュニア記者たちもドキドキの連続です。みんなはどれに乗ってみたい?

観覧車



スケルトン
ゴンドラは
これ!

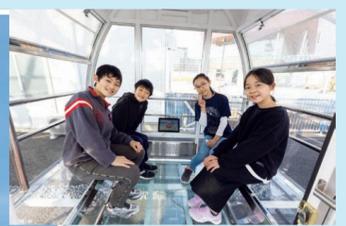
イルカや恐竜に乗れるユニークなメリーゴーランド。カラフルな外見は見るだけで笑顔になります



メリーゴーランド



馬車の片側が大きく開いて、乗り入れた車いすを固定できます



スカイサイクル

ゴンドラは最大6人が乗れる広々とした大きさ。特別な窓の仕組みで換気もバッチリ!

全28台あるゴンドラには、全面が透けている「スケルトン」のゴンドラが4台あります。足元から地上が見えるスリルを味わおう!



ゴンドラ内のタッチパネルは、観覧車から見える景色を解説してくれます。晴れていれば観覧車から富士山も見えます

取り外しできるスロープで、車いすに乗った方もそのまま入場できます

ウォーターシューティングライド

得点を競ってジュニア記者たちも大奮闘。炎のパネルの穴をねらって水を噴射します



新たに登場したアトラクション。消防士になってビルの火災を止めよう!

わくわくハウス



色とりどりの楽しい飾りが目印



アスレチックは、木材を基調とした、手にも優しい設計

見守りスタッフが常駐しているので、遊ぶときも安心です

1階は、売店と釣り堀の受付。2階には、0~12歳の子どもの雨の日でも遊べる「わくわくパーク(室内遊び場)」があります。「わくわくパーク」では工作なども楽しめます。

ふれあいハウス

2階の多目的ルームでは、陶芸体験や工作教室などを開催します
1階の「下町都電ミニ資料館」には、都電の模型や関連品を展示しています。人気が高い「鉄道模型運転場」もリニューアルしました。ジオラマの中を走るNゲージ車両の運転が楽しめます。

都電が好きな人はこちらへ!



あらかわ遊園「一日フリーパス」無料
学校名 _____
学年 _____

注意
券を切り取って、受付窓口にて持参してください。コピーなど、複製したチケットは使えません。入園制限が行われている期間に来園する場合は、別途、事前予約が必要です。

ジュニア
記者の
オススメは
こちら!

観覧車はいろんな景色が見えるし、タッチパネルが夜の景色を解説してくれるのがいいなと思いました!
古若 依菜さん



スカイサイクルが一番好きです! 足が届かなくても自動で動かせるのがすごい! また乗りたいなと思いました。
岡村 英門くん



ウォーターシューティングライドは得点を競うのが楽しいので、友だちと来たときに一緒に遊びたいです!
藤澤 一真くん



小さい子も安心だね!

子ども用のトイレや授乳室、オムツ替え用の台が設置されたベビールームなど、赤ちゃんのためのスペースも充実しています

Topics

新しいふれあい館が
オープンしました

4月1日、尾久地域に「東尾久本町通りふれあい館」が、日暮里地域に「ひぐらしふれあい館」がオープンしました。

東尾久本町通りふれあい館は、木材の色や模様を表現した温かみがあるふれあい館です。隣に児童遊園があり、1階のサロンスペースの窓を開放することで、児童遊園との一体感が高まります。

ひぐらしふれあい館は、仕切りなどにガラスを多用した明るいふれあい館で、学童クラブを併設しています。

ふれあい館では、いろいろな世代の方が楽しめるよう、イベントを開催したり、多目的室を開放したりしています。また、サークル活動などに参加することができます。みなさんも、近くのふれあい館に遊びに行ってみませんか。



▲東尾久本町通りふれあい館



▲窓を開放すると児童遊園とつながります



▲ひぐらしふれあい館



▲明るい雰囲気を感じられます

なりたいたい自分になる!
「カメラマン」
になるために!

将来の夢
インタビュー
第6回

「あらかわ区報Jr.」のカメラマンを
2018年から担当している
横村太郎さんに話を聞きました。

いつごろからカメラマンになりたいと思いましたか?

写真に興味を持ち始めたのは小学6年生のときです。中学では写真部に入部して友人や風景などを撮っていました。本格的にカメラマンになりたいと思うようになったのは高校2年生のときです。進路を考える際、「プロになるぞ!」と決めました。

カメラマンになるために何をしましたか?

カメラマンになる方法をいろいろと調べて、まず写真の専門学校に行きました。その後はプロカメラマンの助手になり、写真を撮るために必要なことを勉強しました。助手時代はプロとして写真を撮ることの「心構え」や「厳しさ」など、大切なことをたくさん教えてもらいました。

カメラマンになってうれしかったことはありますか?

1番最初にうれしいと思ったのは、「撮影：横村太郎」と自分の名前が雑誌に載っているのを見たときです。自分が撮った写真をたくさんの人に見てもらえる・喜んでもらえるということが、他とは比べられないほどうれしくて、「頑張ろう!」という気持ちの原動力になりました。

カメラマンになりたい小・中学生にアドバイスはありますか?

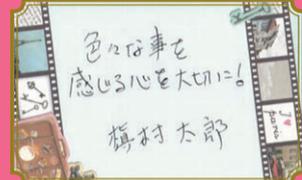
デジタル化で写真が身近な存在になりました。今はスマホなどでも簡単に写真が撮れるので、いろいろな事に興味を持って、「瞬間」を見逃がさないようにいっぱい撮ってみましょう!

横村太郎さん



京都府出身。個人カメラマンのアシスタントを経て、1990年よりフリーランスとして活動中。カメラマン歴は32年。

応援message



「写真は撮れば撮るほど上手になります。ゴールがないのが写真の魅力です。いつまでも自分を進化させていきましょう!」と横村さん。

あらかわ
今昔ものがたり
日 [あらかわの歴史と伝説]

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234



その137
職人よもやま話⑪
～江戸の鋳物師西村和泉守の
技を伝える日暮里の職人～

街の中の銅像 あらかわの街をお散歩すると、あちこちで銅像を見かけるよね。「あらかわ街なか美術館」といって、芸術家がつけた作品を展示しているんだよ。えっ、日暮里のお寺でもっと古そうな銅製のお地藏さんを見たって? 西日暮里三丁目の浄光寺さんだね。あそこには区指定有形文化財のお地藏さんが二つあるんだ。一つは、元禄4年(1691)に作られた銅造地藏菩薩立像。鋳物の名人の空無上人の作品だ。もう一つは、銅造地藏菩薩坐像。鋳物師(鋳物職人のこと)の西村和泉守が文化6年(1809)に作ったんだよ。神田鍛冶町(今の千代田区)にあった西村和泉守の工房は大正時代まで続いたんだって。



▲左が西村和泉守の作品

鋳物師の街日暮里
明治時代以降、日暮里には何軒もの鋳物の工房が開かれ、たくさんの鋳物師が活躍したんだって。東京美術学校(今の東京藝術大学)が近くに

あったことや、鋳物の型に使う砂が手に入りやすかったことなどが理由に挙げられているんだ。西村和泉守の技を伝える その中に西村和泉守の技を受け継いだ職人がいた。明治生まれの菓子十平さんだ。十平さんは西村和泉守派の大貫房次郎という鋳物師のお弟子さんだ。日本古来の伝統的な技である「真土型」という鋳型作りの技術で、仕上げまでを行っていたんだ。大手町(千代田区)にある和氣清麻呂像などの巨大な銅像を手がけるときは、近所の鋳物師の皆さんと協力し合って製造したんだってさ。

伝統の技で左内像を作る ところで荒川ふるさと文化館の前のお堂に橋本左内像があるよね。十平さんの息子で「現代の名工」に選ばれた菓子満さん(区指定有形文化財)の作品だ。菓子さんの左内像は父から受け継いだ西村和泉守の技で作られたんだよ。あらかわには菓子さんの技だけでなく、たくさんの伝統工芸技術が伝わっているんだ。7月2日・3日に荒川総合スポーツセンターで開催予定の「第41回あらかわの伝統技術展」で、江戸以来の伝統の技の数々に触れてみてね。



▲橋本左内像を製作する菓子満さん